

だいいく通信 第二十七号 「秋の号」

ひあつわつ

暑かった夏もようやく過ぎ、涼しい季節になってまいりました。今年は列島各地に上陸する台風も多く、あちこちで大きな被害が出たとのニュースに接しました。一方で、地震国でもある日本に暮らす私たちは、改めて日々自然とともにあることを肝に銘じ、自らを守るすべを考えていなければならないのだと思います。

社報「だいいく通信」の第二十七号をお届けいたします。今回の内容は催し物のご報告、神社にまつわる豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、そして、オリジナル・キャラクターが活躍する連載まんがなどです。引き続きなにとぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

大國神社 宮司 大島資生



大國神社の今

(1) 第二回だいいくクラシックス「小林久美さんヴァイオリン・リサイタル」を開催しました。

十月二日(日)、東京都交響楽団で第二ヴァイオリン副首席奏者をお務めの小林さんによるミニ・リサイタルを開催いたしました。昨年十月に引き続き、ヴァイオリンの美しい音色を楽しませていただきました。今回は有名な「シャコンヌ」を含むバッハの無伴奏パルティータ第2番を中心に、ホルムベスクの切々たる「望郷のバラード」などをご披露くださいました。今回も、小林さんの、誠実で想いのこもった演奏に魅了されました。



(2) 新しい由緒書きを作りました。

当神社の由緒書きをリニューアルしました。基本的な内容はそのままに、当神社についての豆知識などを加えました。案内役はオリジナル・キャラクター、双子うさぎの大助と白吉が務めています。社務所にて配布中です。ご参拝の折には是非ご覧ください。



お宮あれこれ〜御朱印のこと〜

最近、神社やお寺で御朱印を受けるかたが増えています。今回は、この御朱印についてお話ししたいと思います。

本来御朱印の起源は、書写した経文をお寺に奉納した際、納経の証明として授与されたものだそうです。この習慣は、西国巡礼などの信仰とともに広まったとされています。お寺の御朱

印が授与される場所が納経所とされる所が多いのも、こうした成り立ちによるものと考えられます。

御朱印はのちに、お寺だけでなく、神社でも授与されるようになり、現在は多くの場合、参詣・参拝した際、証(あかし)として授与されています。近年は個性的なものも多く、寺社めぐりに合わせて趣味として集めるかたも多いようです。

御朱印は、寺社の名称、本尊やご祭神の名称、日付などを墨で記し、護符の宝印が朱墨で押されるのが一般的です。御朱印帳もしくは納経印帳と呼ばれる専用の帳面に押印してもらいます。御朱印帳は、蛇腹折のものが多く用いられていますが、和綴じや袋綴じのものも見られます。さまざまな意匠をこらしたのものもあり、中には手作りする人もあるそうです。

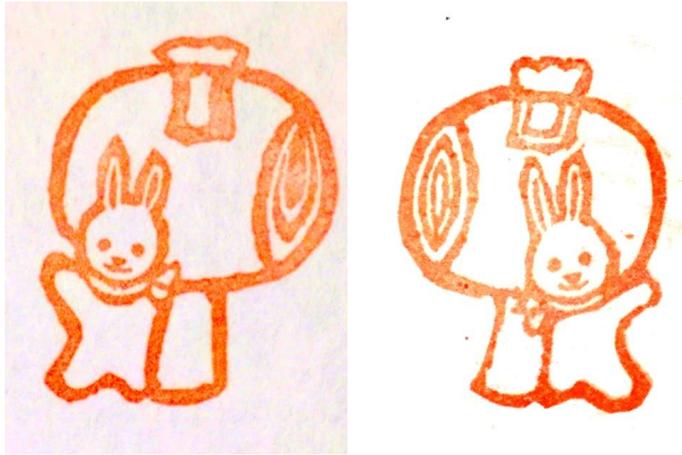
よく言われることですが、御朱印は、寺社で授与するお札やお守りと同様のものです。右に述べました、御朱印の起源からみても、ご本尊・ご祭神の威徳を分けていただくものと考ええるべきで、スタンプラリーなどは全く性質を異にするものと考えております。

御朱印収集を通じて、寺社への関心が高まることは大変結構なことです。ただ、御朱印をお受けになるかたには、あくまで参拝の一環であることを念頭においていただきたいと考えます。最近、神社等で受けた御朱印をネット・オークションに出品して利益を求めるといった事例を目にしたところから、どうしても申し上げておきたい、記した次第です。いささか口幅つたい物言いとなりましたことをお許しください。

ところで、当神社でも御朱印を授与しており、昨年からは、神社の印に、オリジナル・キャラクターである双子うさぎをあしらったスタンプを添えています。通常時のスタンプに加え、

不定期ではありますが、季節に合わせたものもご提供しております、ご参拝のみなさまからご好評をいただいております。大國様のお使いであるうさぎを登場させることで、少しでもご祭神や神社を身近に感じていただければと考えての趣向です。なにとぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。以下、これまでに使用しているスタンプをご紹介します。

《通常時のスタンプ》右上が初代、左上が二代目、下が現在の三代目。



《季節のスタンプ》桜(右上)、朝顔(左上)、お月見(下)。



祭礼・祈禱などのご案内

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは次ページの電話番号もしくはメールにてお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈禱を行なっております。祈禱日時については、お電話またはメールにてご相談ください。



(連載まんが)

大吉うさぎ ～七五三川柳～

くまこまち 作



〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三―三九一八―七九三〇(携帯) ○八〇―一九八七―八七二六

eメール daikokujinja@gmail.com

○次回甲子祭

平成二十八年十二月八日(木) 午前五時～正午

○開運千人講祈禱祭 毎月一日 午前六時～正午まで

次号発行予定

「だいこく通信第二十七号」、いかがでしたか。次号「冬の号」は、十二月八日の甲子祭に発行予定です。

「だいこく通信」第二十七号 平成二十八年十月九日発行

編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇―〇〇〇三 東京都豊島区駒込三―二―十一

<http://www.daikokujinja.org>